



SnapDrive for UNIX の Snapshot 処理とは

Snapdrive for Unix

NetApp
June 20, 2025

目次

SnapDrive for UNIX の Snapshot 处理とは	1
Snapshot コピーを使用する場合の考慮事項	1

SnapDrive for UNIX の Snapshot 処理とは

SnapDrive for UNIX では、 Data ONTAP の Snapshot テクノロジを使用して、ストレージシステムに格納されているホストデータのイメージ（ Snapshot コピー）を作成できます。

この Snapshot コピーはデータのコピーを提供します。このコピーはあとでリストアできます。Snapshot コピーのデータは、1つのストレージシステム上に存在することも、複数のストレージシステムとそのボリュームにまたがることもできます。これらのストレージシステムは、 HA ペア構成、ノードローカルのファイルシステム、またはホストクラスタ環境のディスクグループまたは LUN です。SnapDrive for UNIX がインストールされている非クラスタ構成 UNIX ホストでは、ストレージ・システム上に1つ以上のボリューム・グループの Snapshot コピーを作成できます。

Snapshot コピーには、ファイルシステム、論理ボリューム、ディスクグループ、LUN 、および NFS ディレクトリツリーを含めることができます。作成した Snapshot コピーは、名前変更、リストア、または削除できます。同じホストまたは別のホストの別の場所に接続することもできます。接続が完了すると、 Snapshot コピーの内容を表示および変更したり、 Snapshot コピーの接続を解除したりできます。また、 SnapDrive for UNIX を使用すると、作成した Snapshot コピーに関する情報を表示できます。SnapDrive for UNIX がインストールされたクラスタ UNIX ホストでは、ディスクグループとファイルシステムを含むホストクラスタノードに対して Snapshot 処理を実行できます。Snapshot 処理には、 create 、 rename 、 restore 、 connect 、 disconnect 、 を表示し、削除します。

Snapshot コピーを使用する場合の考慮事項

Snapshot コピーを使用する場合に注意すべき点はいくつかあります。たとえば、 SnapDrive for UNIX が作成した Snapshot コピーのみで機能する点や、ストレージシステムからホストに Snapshot コピーが自動的にレプリケートされる点などです。

Snapshot 処理を使用するときは、次の点を考慮してください。

- SnapDrive for UNIX は、作成した Snapshot コピーでのみ機能します。
作成されなかった Snapshot コピーはリストアできません。
- デスティネーションストレージシステム上に Snapshot コピーを作成すると、その Snapshot コピーが作成されたソースストレージシステムからデスティネーションストレージシステムに自動的にレプリケートされます。

SnapDrive for UNIX では、デスティネーション・ストレージ・システムにも Snapshot コピーをリストアできます。

- 元のホストに接続するには、 SnapDrive snap connect コマンドを使用して、前回接続した（またはまだ接続している）ホスト上の同じホスト上の新しい場所にある Snapshot コピーに接続します。
- 複数のストレージシステムボリュームまたは複数のストレージシステムにまたがるストレージエンティティのスナップショットのサポートは、ソフトウェアスタックでフリーズ処理を許可しない構成では制限されます。
- NFS プロトコルを使用してボリュームをエクスポートする場合は、 SnapDrive for UNIX コマンドを使用するために、 Anonymous User ID オプションを 0 に設定する必要があります。

- 1つのディスクグループに2つのJFSファイルシステム（JFSとJFS2）がある場合、SnapDrive for UNIXではJFS2ファイルシステムについてのみ処理がサポートされます。
- SnapDrive for UNIXを使用すると、同時ボリュームグループのSnapshotコピーを作成したり、同じプロパティを使用してクローニングやリストアを実行したりできます。
- Single-File SnapRestore（SFSR）処理を実行したあと、Snapshotコピーの作成をただちに失敗します。

しばらくしてから処理を再試行する必要があります。詳細については、を参照してください "『[clustered Data ONTAP 論理ストレージ管理ガイド](#)』"。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。